

◆小数に整数をかける計算

① 1.3×3 の計算のしかたを考えましょう。

1.3×3 の計算は、 13×3 の計算を生かして計算することができるね。



1.3 × 3

- ・ かけられる数の1.3は、0.1を13こあつめた数です。
- ・ 1.3×3 の積は、0.1を (×) こあつめた数です。

- ・ $13 \times 3 = 39$ だから、 1.3×3 の積は、0.1を こあつめた数です。
- $1.3 \times 3 =$

13 × 3

- ・ かけられる数の13は、1を13こあつめた数です。
- ・ 13×3 の積は、1を (13×3) こあつめた数です。

- ・ $13 \times 3 = 39$
- ・ 1.3×3 の答えは、 13×3 の答えの $\frac{1}{10}$ です。
- ・ $1.3 \times 3 =$

② 1.3×3 の筆算は、次のようにします。

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times \quad \square \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times \quad 3 \\ \hline \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times \quad 3 \\ \hline 3.9 \end{array}$$

① かけられる数とかける数を、右にそろえて書く。

② 小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算する。

③ かけられる数の小数部分のけた数と同じになるように、積の小数点をうつ。

1.3×3 は 0.1 をもとにすると、 13×3 と考えられるね。



1.3×3 の積は、 13×3 の積の $\frac{1}{10}$ だね。



◆いろいろな小数 × 整数の筆算

① 2.8×34

	2	.	8	
×	3		4	

② 1.38×7

	1	.	3	8
×				7

③ 2.35×4

	2	.	3	5
×				4

④ 0.045×23

	0	.	0	4	5
×				2	3

2.8×34の筆算のしかた

- ①かけられる数とかける数を、右にそろえて書く。
- ②小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算する。
- ③かけられる数の小数部分のけた数と同じになるように、積の小数点をうつ。

かけられる数を100倍すると、 138×7 と同じように計算できる。



138×7 の答えを $\frac{1}{100}$ にすると、 1.38×7 の答えを求めることができるね。



2.35は2よりも少し大きい数だから・・・。

2.35×4 の答えは9.40で、9.4と同じ大きさだから、0は線で消して、9.4とするよ。



積の大きさを予想してから計算すると、小数点をうつ場所をまちがえないよ。



◆練習

① 0.8×9

	0	.	8
×			9
<hr/>			

② 4.7×8

×			
<hr/>			

③ 13.6×4

×			
<hr/>			

④ 5.3×16

	5	.	3
×	1	6	
<hr/>			

⑤ 0.7×59

×			
<hr/>			

⑥ 3.46×28

×			
<hr/>			

⑦ 0.64×49

$$\begin{array}{r} 0.64 \\ \times 49 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 2.68×5

⑨ 3.25×4

⑩ 0.032×5

$$\begin{array}{r} 0.032 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$$

⑪ 0.703×69

⑫ 2.745×38

◆ 小数を整数でわる計算

① $3.9 \div 3$ の計算のしかたを考えましょう。

$3.9 \div 3$ の計算は、 $39 \div 3$ の計算を生かして計算することができるね。



$3.9 \div 3$

- ・ わられる数の 3.9 は、 0.1 を 39 こあつめた数です。
- ・ $3.9 \div 3$ の商は、 0.1 を (\div) こあつめた数です。

- ・ $39 \div 3 = 13$ だから、 $3.9 \div 3$ の商は、 0.1 を こあつめた数です。
- $3.9 \div 3 =$

$39 \div 3$

- ・ わられる数の 39 は、 1 を 39 こあつめた数です。
- ・ $39 \div 3$ の商は、 1 を ($39 \div 3$) こあつめた数です。

- ・ $39 \div 3 = 13$
- ・ $3.9 \div 3$ の答えは、 $39 \div 3$ の答えの $\frac{1}{10}$ です。
- ・ $3.9 \div 3 =$

② $3.9 \div 3$ の筆算は、次のようにします。

$$\begin{array}{r} \square \\ 3 \overline{) 3.9} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1 \square \\ 3 \overline{) 3.9} \\ \underline{3} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1. \square \\ 3 \overline{) 3.9} \\ \underline{3} \\ 0 \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$$

① 整数部分の計算をする。

② 商の小数点を、わられる数の小数点にそろえてうつ。

③ 整数のわり算と同じように、つづきを計算する。

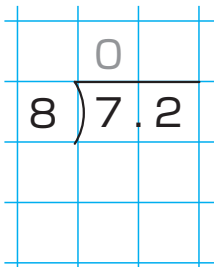


$3.9 \div 3$ の商は、 $39 \div 3$ の商の $\frac{1}{10}$ だね。

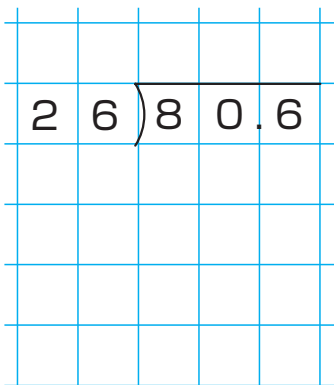
4年	名	
	組	前

◆いろいろな小数 ÷ 整数の筆算

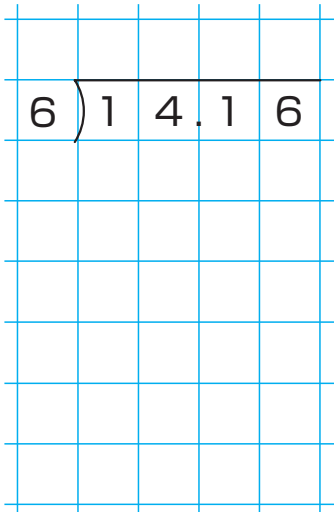
① $7.2 \div 8$



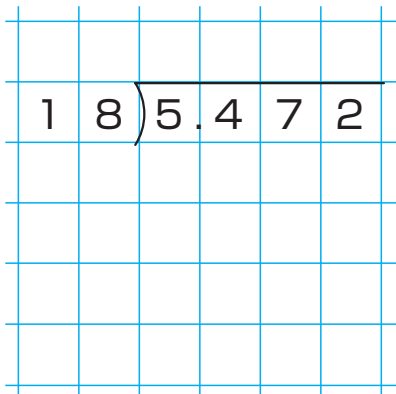
② $80.6 \div 26$



③ $14.16 \div 6$



④ $5.472 \div 18$



7.2 ÷ 8 の筆算のしかた ひっさん

- ① わられる数よりわる数のほうが大きいので、一の位くらいに商はたたないから、0をたてる。
- ② 商しょうの小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $8 \overline{)72}$ と同じようにして、つづきを計算する。

80.6 ÷ 26 (わる数が2けた) の筆算のしかた ひっさん

- ① 整数部分せいすうぶぶんの計算をして、一の位くらいに3をたてる。
- ② 商しょうの小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $806 \div 26$ と同じようにして、つづきを計算する。

14.16 ÷ 6 (わられる数が $\frac{1}{100}$ の位まで) の筆算のしかた ひっさん

- ① 整数部分せいすうぶぶんの計算をして、一の位くらいに2をたてる。
- ② 商しょうの小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $1416 \div 6$ と同じようにして、つづきを計算する。

5.472 ÷ 18 (わられる数が $\frac{1}{1000}$ の位まで) の筆算のしかた ひっさん

- ① わられる数よりわる数のほうが大きいので、一の位くらいに商はたたないから、0をたてる。
- ② 商しょうの小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ 次に、 $54 \div 18$ の計算をして、 $\frac{1}{10}$ の位くらいに3をたてる。
- ④ $5472 \div 18$ と同じようにして、つづきを計算する。

小数と整数のかけ算，わり算 ⑥

(教科書 79 ~ 83 ページ)

4年

名

組 前

◆練習

① $7.2 \div 6$

$$\begin{array}{r} 6 \overline{) 7.2} \\ \hline \end{array}$$

② $6.4 \div 2$

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 6.4} \\ \hline \end{array}$$

③ $11.2 \div 4$

$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 11.2} \\ \hline \end{array}$$

④ $27.2 \div 8$

$$\begin{array}{r} 8 \overline{) 27.2} \\ \hline \end{array}$$

⑤ $2.7 \div 9$

$$\begin{array}{r} 9 \overline{) 2.7} \\ \hline \end{array}$$

⑥ $4.2 \div 7$

$$\begin{array}{r} 7 \overline{) 4.2} \\ \hline \end{array}$$

⑦ $93.6 \div 36$

$$36 \overline{) 93.6}$$

⑧ $21.6 \div 54$

⑨ $39.68 \div 16$

⑩ $2.88 \div 48$

$$48 \overline{) 2.88}$$

⑪ $4.913 \div 17$

⑫ $0.576 \div 72$

4年	名	
	組	前



◆わり進むわり算

4.5m のひもを6等分すると、1本分の長さは何m になるでしょうか。わりきれぬまで計算しましょう。

$4.5 \div 6 =$

答え

$$\begin{array}{r} 0. \square \\ 6 \overline{) 4.5} \\ \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.7 \\ 6 \overline{) 4.50} \\ \underline{42} \\ 3 \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.75 \\ 6 \overline{) 4.50} \\ \underline{42} \\ 30 \\ \underline{30} \\ \square \end{array}$$

・4.5を4.50とみて、0をおろす。

・つづきを計算する。



◆商の四捨五入

商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めましょう

① $11 \div 3$

② $8 \div 9$

③ $3.5 \div 16$

$$3 \overline{) 11}$$



◆あまりのあるわり算

9.3m のひもを 4m ずつ切っていきます。
4m のひもは何本できて、何 m あまるでしょうか。

$9.3 \div 4 = \square$ あまり \square

4m のひものできる本数は
整数で答えることになるから、
商は一の位まで求めればいいね。



答え \square できて、 \square あまる。

$$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{) 9.3} \\ \underline{8} \\ 13 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{) 9.3} \\ \underline{8} \\ 1 \downarrow 3 \end{array}$$

・一の位まで計算する。

・おろした 13 は、0.1 が 13 こ分
なので、小数点をうって、1けた
位を下げる。

あまりの小数点は、わられる数の
小数点にそろえてうつつよ。



◆練習

わりきれぬまで計算しましょう。

① $15.3 \div 6$

② $1.83 \div 15$

③ $9 \div 12$

$$6 \overline{) 15.3}$$



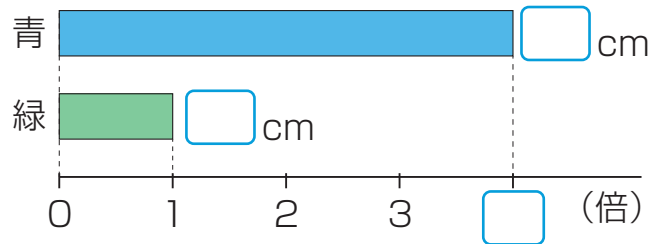
◆倍の計算

120cmの青のテープ，75cmの赤のテープ，30cmの緑のテープがあります。
青や赤のテープの長さは，それぞれ緑のテープの長さの何倍ばいでしょうか。

① 青のテープの長さは，緑のテープの長さの何倍ばいでしょうか。

しき式 $120 \square 30 = \square$

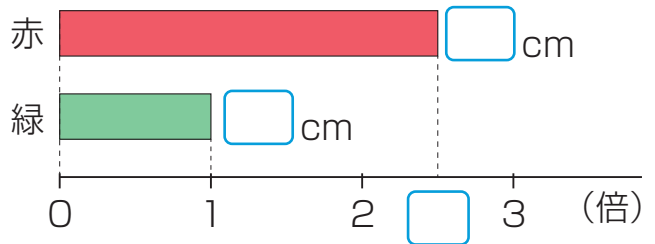
答 \square



② 赤のテープの長さは，緑のテープの長さの何倍ばいでしょうか。

しき式 $\square = \square$

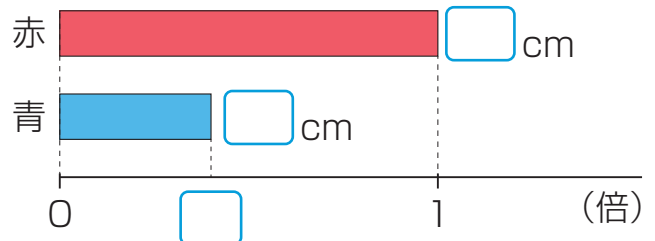
答 \square



赤のリボンの長さは50cmで，青のリボンの長さは20cmです。
青のリボンの長さは，赤のリボンの長さの何倍ばいでしょうか。

しき式 $\square = \square$

答 \square



2.5倍や0.4倍のように
何倍かを表す数が
小数になることもあるよ。